

ゆのやま
(15) 湯の山県自然環境保全地域 (昭和 52 年 1 月 19 日指定)

○所在：広島市佐伯区湯来町大字和田 ○面積：85.11 ヘクタール

この地域は、太田川の支流水内川の一支出谷にあって、二段滝を中心とする特異な地形、地質及びそれと一体をなす動植物相が良好な自然環境を形成しています。

湯の山溪谷は、水内川の支流に形成された溪谷で、規模は小さいながらも、随所に巨岩、絶壁が見られるなど変化に富んでいます。

なかでも「たらたら滝」は、この溪谷を代表する滝です。

この滝は、2 段から成り、上段滝、下段滝いずれも高さは約 20 メートルで、上下の滝の接点である中断は千畳敷と呼ばれ、幅 20 メートル、長さ約 30 メートルの岩床を形成しており、見事な二段滝となっています。

この地域の岩山上にはアカマツ林の代表的な林相が見られます。概して、ここのアカマツ林は、斜面下部でアラカシ、ウラジロガシなどの常緑樹林が優勢を占め、中腹以上では、ウリハダカエデなどの落葉樹林が優勢となり、山背では、ツツジ類が多いアカマツ林となっています。

地形に応じた規則的な配列が見られ、極めて整った岩山のアカマツ林としてその植物群落学上の価値は非常に高いものです。

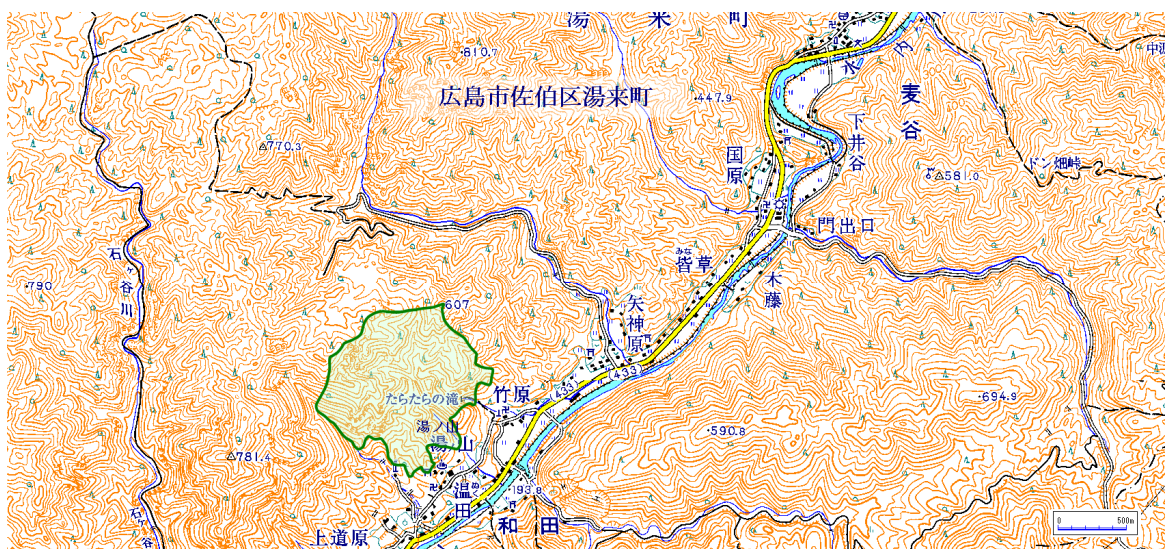
また、滝の近辺では、ツツジ類が豊富です。溪谷の流水は、夏期には枯渇するらしく、水生動物はあまり見られません。

水生動物以外では、ニホンザル、アナグマ等の哺乳類が生息しており、鳥類では、シジュウカラ、カケスなどのほか、ツグミ、ヒヨドリなどの田園性の小禽類が多く見られます。

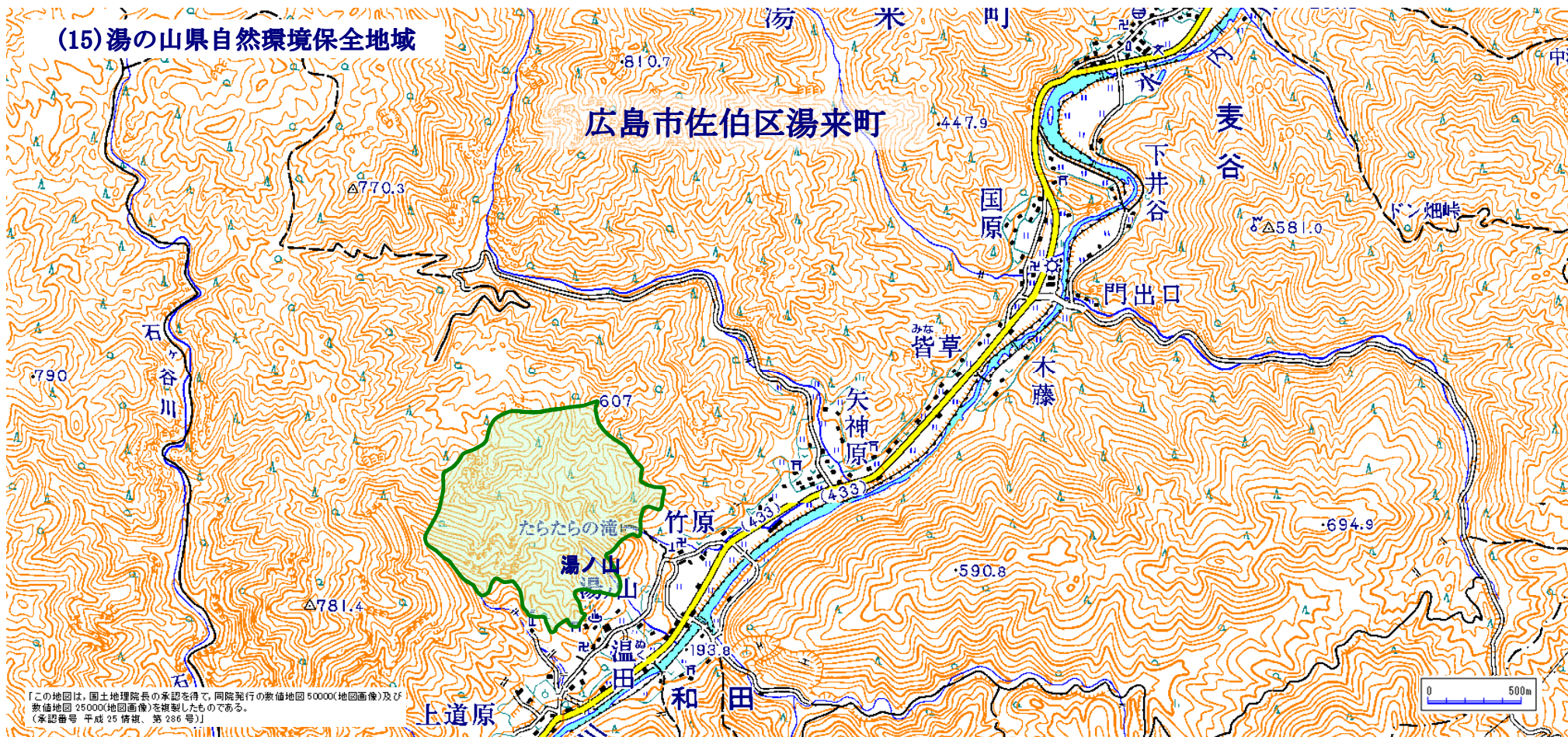
また、近くには、鉱泉が湧出する湯の山温泉があり、古くから地元の人に知られ、昭和 33 年には、「湯の山旧湯治場」として県史跡に指定されています。



多羅多羅の滝



(15)湯の山県自然環境保全地域



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図5000(地図画像)及び数値地図25000(地図画像)を複製したものである。
(承認番号 平成25情保第286号)」